

まちづくり行政について

津山新星会議 吉田 耕造



質問 ↓改正中心市街地活性化法に対応した町なか居住、医療・介護施設などの新設及び拡充の施策は。

答弁 ↓今後の中心市街地活性化にあたっては、部局を横断した総合調整が行

える会議体、副市長と関係部長で構成する「まちづくり検討会議」を設置した。商業の活性化だけでなく、教育文化施設や医療施設等の多様な都市機能の集約や、町なか居住の推進が示されている。総合計画の方針を踏まえ、関係部署の協力の下、一体的に進めたい。

質問 ↓東吾田地区の都計道路整備について。

答弁 ↓林田小原線(柳通り)の未改良区間は、高専橋交差点と城北橋北側を結ぶ延長百六十二mの道路である。岡山県で整備し、来年度早い時期に事業評価を実施し、事業着手する。

アルネへの県支援金二十億円は幻ではない

日本共産党津山市議員 末永弘之



質問 ↓市長は、アルネ再建第三次案の財源である県支援金二十億円を「蜃気楼」などと称しているが、議会は「幻の支援金」を議決したのではない。議会全員の意思により、市長の認識を変え

てもらうために休憩をして議長室に適切な措置をとってもらいたい。

(議事を止めて約二時間調整に入る)

答弁 ↓今までの不適切な発言について「お断り」申しあげ議長室に適切な措置をとってもらいたい。県の支援金にかかわる事業である、バスステーション事業などを見直し、中止し、新たに五億円の県支援金による「災害時孤立地域防災拠点整備事業」を受け入れたい。

質問 ↓二度とこのようなことが起らないように申し入れておく。県支援金が入らなくなった事に関するアルネ再建策の資金計画を早く提出してください。

行政サービス度の向上を!

みどりの会 野村 昌平



質問 ↓日経グローバル紙の全国市区行政サービス度調査で本市のランキングは悪すぎるが(回答七百六十四市区中七百十位、県下回答十三市中最下位、四月一日時点)市長の所見は。

答弁 ↓びっくりしている。一つの客観的数値なので、反省材料にし、逆に励みとして頑張りたい。ただ、ばらまきではなく、津山に向く「しあわせ大国」を目指す。別の調査で安全度では全国十三位となっている。

質問 ↓血踏改良工事の完成は。関連して佐良山小学校対策は。

答弁 ↓十九年度に国道五十三号の付け替え、二十年度に踏切拡幅を行う。付け替え工事の結果、騒音等調査のうえ、その方策等を検討する。小学校は今年度の耐震診断と耐震化優先度調査を踏まえ順次耐震化を行う。

広域ごみ処理センターの現状と課題

新風会 北本周作



質問 ↓行政は、適地選定委員会の決定に意見を指し挟むことはないのか。
答弁 ↓適地選定委員会の選定については、尊重するところであるが最終的な決定は行政である。また、津山ブロッ

クとして取り組みであり、市議会、関係市町村の理解、協力が必要である。

質問 ↓学校施設の耐震診断の実施、状況は。また、耐震診断に対する補助制度は。

答弁 ↓小学校は二十一校、中学校は六校が該当するが、今年度は五小学校の診断を実施している。完了時期は平成二十一年であるが実施の前倒しも検討したい。補助制度などについては「安全・安心な学校づくり交付金」と有利な起債と一般財源を想定している。また、第四次総合計画の中で早期に取り組むこととしている。